



2009年4月に新しく建設された枚方物流センターでは、品質管理を充実させるとともに取り扱い品目を増やして、「組合員さんに安心・便利にご利用いただければ」と稼動しています。商品を個人別にセットして各生協の支所に届けるだけでなく、回収した内袋・タマゴパックのリサイクル加工まで行っています。商品がどのようにして組合員さんのお手元に届くのか、今回は要冷商品の作業行程をご紹介します。

1 トラックで商品が物流センターに入荷!

物流センターの入荷口とトラックの後部扉をジャストフィットさせ、室温5度の中で入荷するようにし、特に夏場の外気温の影響を受けないようにします。



室温5度

2 届いた商品の品質チェック!

最初に適正温度でちゃんと届いているか温度チェックを行います。冷蔵品なら10℃、冷凍品ならマイナス15℃と、品温が守られているか確認します。その他に商品画像を確認して間違った商品が届いていないか、また包材や重さ・産地や賞味期限などもチェックします。



室温5度

商品は全て個人別に仕分けます

組合員さん一人ひとりのラベルを貼られた箱を準備します。



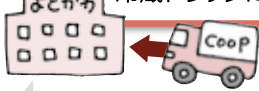
発泡スチロールの箱でしっかり温度管理!

6 組合員さんのお手元へ



枚方の物流センターからよどがわ生協支所へ

温度が逃げないようにしっかり梱包して、冷蔵トラックに積み込みます。



5

4

よどがわ生協各支所から配送出発



室温3度~10度の中で作業

3 商品を1件ずつセットする時も温度管理に留意

ご注文を受けた商品は温度管理が徹底された室内で、組合員お一人ずつの箱に表示器に基づき、人の手で丁寧にに入れて仕分けしていきます。



冷凍品は30分単位で商品補充

どんどん仕分けされていく棚の裏では、棚の商品の減り具合を予測して、30分以内になくなる分だけ冷凍庫から出してスタンバイします。事前に冷凍庫から出す数量を自動的に計算し、常に必要最小限の商品だけを在庫することで品温管理を強化しています。

「折りたたみケース」「発泡スチロールの箱」などの返却にご協力ください

物流センターでは、11月下旬から年末にかけてのご注文が増えてくる時期に備えて、商品お届けに使用している「折りたたみケース」「発泡スチロールの箱」「保冷剤」「青い仕切り板」などの確保に努めています。

これらの容器がご家庭にありましたら、次週以降の配送時に担当者にお出してください。年末繁忙期のスムーズな作業進行のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

(枚方物流センター・ベジタブルセンター)



組合員さんよりご注文いただいた商品を、安心してご利用いただけるように品質管理を強化し、心をこめてお届けしています。今後も《よどがわ》は物流センターと共に、『食の安全への取り組み』を行っていきます。



いい絵本と悪い絵本があるんです

絵

絵本読み聞かせワークショップを開催!

本の読み聞かせ活動をしている元理事の島田さんをお招きし、ワークショップを34名の参加で行いました。ちよっとした工夫で、より一層楽しく絵本を

読むことができ、楽しいひと時を過ごすことができます。島田さんからのお話の後に、みんなで持ち寄った絵本を読むワークショップを行いました。参加者からは「実際、読んでみると気付きもたくさんあり、よかったです。」「絵本も面白いものを知ることができて、子供に読んであげたくなりました。」「託児付きでレッスンにもなりました」などの声が寄せられました。



片手で絵本を持って読むことが新鮮でした!

子育て支援委員会主催
10月7日(金) 場所: 茨木クリエイト

NEWS FILE

ニュースファイル

絵本読み聞かせワークショップ

ブローチ支援活動

ハートブローチの取り組みで「被災地に笑顔を。」

被災地では、まだ多くの被災者が仕事がない状態です。ハートブローチを手仕事で作成していただくことで、仕事の場やコミュニケーションの場を提供する取り組みを行いました。手作りした編んだハートのブローチを840円(税込)で販売し、このうち50%(400円)が作成した被災者の収入となります。現在岩手県の被災者約40名が参加し、現在横浜・大阪の高島屋で販売されており、《よどがわ》でも販売することで被災地者と組合員の支援活動になればと、10月2回に全組合員にチラシ配布を行って注文を呼びかけました。



お届け時に応援メッセージカードを添付。ご記入後、被災者にお届けします

募金活動報告 (10月28日現在)

東日本大震災救援募金 (被災者への義援金として) **18,840,411円**

募金方法 ▶ 注文書6ケタ注文欄に注文番号「001417」と個数(100円単位)を記入。

遠野まごころネット募金 (まごころネットの運営サポートとして) **3,048,700円**

募金方法 ▶ カンパ欄1416番に個数(100円単位)を記入。

引き続き、募金にご協力をお願いいたします

震災支援レポート

職員による被災地支援活動報告

第4支所 糠山和浩(ぬかやま かずひろ)

9月10日から1週間、岩手県沿岸部で震災ボランティアに参加しました。大津波から半年が経過し、岩手県では全ての避難所が閉鎖され、仮設住宅や親類の家にいられた被災者のみなさんはプライバシーが守られることになったこと引き換えに、公的支援は受けられなくなり、失業して収入のない方も多く、そういう人たちに支援物資をお届けするのが私たち生協ボランティアの役割です。まだまだ復興には長い月日が必要ですが、これからもできる限り支援を続けていきたいと思えます。

